

平成 28 年度論文一覧

【審査付論文】

[測地部]

- ・山中雅之（地理地殻活動研究センター）・中埜貴元（地理地殻活動研究センター）・和田弘人（文部科学省）・仲井博之（2016）：全国 SAR 干渉解析による斜面変動の検出事例，第 8 回土砂災害に関するシンポジウム講演論文集。
- ・宮原伐折羅（2017）：地球規模の測地基準座標系（GGRF）と国連総会決議，測地学会誌 GGOS 特集号，印刷中。
- ・川畑亮二（2017）：VLBI の GGOS への貢献，測地学会誌 GGOS 特集号，印刷中。
- ・石本正芳・宮原伐折羅・川畑亮二・若杉貴浩・豊田友夫・梅井迪子（2017）：石岡測地観測局の GGOS への貢献，測地学会誌 GGOS 特集号，印刷中。

[観測センター]

- ・川元智司・檜山洋平・太田雄策（東北大学）・西村卓也（京都大学）（2016）：First result from the GEONET real-time analysis system (REGARD): the case of the 2016 Kumamoto earthquakes (GEONET リアルタイム解析システム (REGARD) の最初の成果 -平成 28 年熊本地震における事例-)，Earth, Planets and Space, 68, 190.
- ・川元智司・太田雄策（東北大学）・檜山洋平・等々力賢（富士通研究所）・西村卓也（京大防災研）・古屋智秋・佐藤雄大・矢萩智裕（測地部）・宮川康平（国土交通省）（2017）：REGARD: A new GNSS-based real-time finite fault modeling system for GEONET (GEONET の新しい GNSS によるリアルタイム断層推定システム：REGARD)，Journal of Geophysical Research Solid Earth, 122, 1324–1349, doi:10.1002/2016JB013485.

[地理地殻活動研究センター]

- ・森下遊（2015）：L および C バンド SAR データによる PSI 結果の比較，測地学会誌，61, 157-166.
- ・Morishita, Y., T. Kobayashi, and H. Yarai (2016) : Three-dimensional deformation mapping of a dike intrusion event in Sakurajima in 2015 by exploiting the right- and left-looking ALOS-2 InSAR (2015 年桜島ダイク貫入イベントにおける右及び左観測 ALOS-2 InSAR を利用した 3 次元変動場) , Geophysical Research Letters, 43, doi:10.1002/2016GL068293.
- ・Shoichi Hachinohe (Research Institute, Center for Environmental Science in Saitama, Japan) ・Yu Morishita (2015) : Land subsidence detected by persistent scatter interferometry using ALOS/PALSAR data at Nakagawa lowland in central part of the Kanto Plain, Japan (ALOS/PALSAR データを使用した PSI により検出された関東平野中央部の中川低地における地盤沈下) , International Association of Geodesy Symposia, DOI 10.1007/1345_2016_242.
- ・Ozawa, S., M. Tobita, and H. Yarai (2016) : A possible restart of an interplate slow slip adjacent to the Tokai seismic gap in Japan (東海スロースリップの可能性), Earth, Planets and Space, 68: 54, doi:10.1186/s40623-016-0430-4.
- ・Tetsushi Takano^{1,2}・Masao Takamoto^{2,3,4}・Ichiro Ushijima^{2,3,4}・Noriaki Ohmae^{1,2,3}・Tomoya Akatsuka^{2,3,4}・Atsushi Yamaguchi^{2,3,4}・Yuki Kuroishi⁵・Hiroshi Munekane⁵・Basara Miyahara⁵・Hidetoshi Katori^{1,2,3,4},
1Department of Applied Physics, Graduate School of Engineering, The University of Tokyo・2Innovative

- Space-Time Project, ERATO, Japan Science and Technology Agency, 3Quantum Metrology Laboratory, RIKEN · 4RIKEN Center for Advanced Photonics · 5Geospatial Information Authority of Japan (2016) : Geopotential measurements with synchronously linked optical lattice clocks (量子高度計), Nature Publishing Group, 662-666, doi:10.1038/nphoton.2016.159.
- ・ 矢来博司・小林知勝・森下遊・山田晋也(測地部)・三浦優司(測地部)・和田弘人(測地部)・仲井博之(測地部)・山中雅之(測地部)・攪上泰亮(測地部)・上芝晴香(測地部)(2016) : だいち2号の干渉 SAR による火山活動モニタリング, 写真測量とリモートセンシング, 2016年第1号, 6-11.
 - ・ 小林知勝(2016) : 数値気象モデルを用いた干渉 SAR の大気遅延誤差の低減効果について ~2015年桜島マグマ貫入イベントの解析を例に~, 測地学会誌, 62, 79-88.
 - ・ 森下遊(2016) : GNSS データを用いた干渉 SAR に含まれる空間的長波長誤差の低減, 測地学会誌, 62, 89-100.
 - ・ 松尾功二(2016) : 国際測量者連盟第78回年次会合(ワーキングウィーク2016)参加報告, 測地学会誌, 62, 101-102.
 - ・ 水藤尚(2016) : GEONET 日々の座標値 F3 解に基づく日本列島周辺のプレート境界面上の断層すべりの検知能力, 測地学会誌, 62, 109-120.
 - ・ Fujiwara, S., H. Yarai, T. Kobayashi, Y. Morishita, T. Nakano, B. Miyahara¹, H. Nakai¹, Y. Miura¹, H. Ueshiba¹, Y. Kakiage¹ and H. Une (2016) (1 測地部) : Small-displacement linear surface ruptures of the 2016 Kumamoto earthquake sequence detected by ALOS-2 SAR interferometry (ALOS-2 干渉 SAR による平成28年熊本地震で生じた小変位の地表断層群の抽出), Earth, Planets and Space, 68: 160, doi:10.1186/s40623-016-0534-x.
 - ・ 宇根寛(2016) : 国土地理院の地理教育の支援に向けた取組み, 地図, 61(11), 58-65.
 - ・ Kobayashi, T. (2017) : Earthquake rupture properties of the 2016 Kumamoto earthquake foreshocks (Mj 6.5 and Mj 6.4) revealed by conventional and multiple-aperture InSAR (InSAR 及び MAI 解析により明らかにされた2016年熊本地震の前震の断層破壊の特徴), Earth, Planets and Space, 69: 7, doi:10.1186/s40623-016-0594-y.
 - ・ Suito, H. (2017) : Importance of rheological heterogeneity for interpreting viscoelastic relaxation caused by the 2011 Tohoku-Oki earthquake (2011年東北地方太平洋沖地震の粘性緩和による変動と粘性構造の不均質の重要性), Earth, Planets and Space, 69: 21, doi:10.1186/s40623-017-011-9.
 - ・ 山中雅之・中埜貴元・和田弘人(文部科学省)・仲井博之(測地部)(2016) : 全国 SAR 干渉解析による斜面変動の検出, 第8回土砂災害に関するシンポジウム論文集, 55-60.
 - ・ Hiroshi P. Sato (Nihon University) and Hiroshi Une (2016) : Detection of the 2015 Gorkha earthquake-induced landslide surface deformation in Kathmandu using InSAR images from PALSAR-2 data (PALSAR-2 の SAR 干渉画像を用いた2015年 Gorkha 地震に伴うカトマンズの地すべり性地表変動の抽出), Earth, Planets and Space, 68:47 DOI 10.1186/s40623-016-0425-1.
 - ・ Ozawa, S. (2017) : Long-term slow slip events along the Nankai trough subduction zone after the 2011 Tohoku-earthquake in Japan (東北地震後の南海トラフ沿いのプレート間カップリング), Earth, Planets and Space, 69:56, doi: 10.1186/s40623-017-0640-4.

【審査無し論文】

[企画部]

- ・ 企画部防災推進室(2016) : 口永良部島の火山活動に関する国土地理院の対応, 国土地理院時報, 128集, 1-3.

- ・企画部防災推進室 (2016) : 平成 27 年 9 月関東・東北豪雨災害に関する国土地理院の対応, 国土地理院時報, 128 集, 31-33.
- ・企画部防災推進室 (2016) : 熊本地震に関する国土地理院の対応, 国土地理院時報, 128 集, 135-138.
- ・藤村英範 (2016) : Concept Formulation of Geospatial Infrastructure (G 空間インフラシステム概念の形成), Bulletin of the Geospatial Information Authority of Japan, Vol.64, 1-5.
- ・企画部防災推進室 (2016) : Responses of GSI to the 2016 Kumamoto Earthquake (熊本地震に関する国土地理院の対応), Bulletin of the Geospatial Information Authority of Japan, Vol.64, 15-20.

[測地部]

- ・高橋伸也・菅原安宏・矢萩智裕・阿部聡 (測地観測センター) (2017) : 磁気図 2015.0 年値の公表, CONDUCTIVITY ANOMALY 研究会 2016 年論文集, 投稿中.
- ・三浦優司・和田弘人 (文部科学省)・仲井博之・山中雅之 (地理地殻活動研究センター)・山田晋也 (国土交通省)・攪上泰亮・上芝晴香・矢来博司 (地理地殻活動研究センター)・小林知勝 (地理地殻活動研究センター)・森下遊 (地理地殻活動研究センター) (2016) : だいち 2 号を活用した口永良部島新岳噴火に伴う地表変化の検出, 国土地理院時報, 128 集, 5-12.
- ・安藤久 (中国地方測量部)・千早昭二 (測地観測センター)・菅原準 (測地観測センター)・針間栄一郎・瀧修一・池田祐希・瀬川秀樹 (測地観測センター) (2016) : GNSS 連続観測による口永良部島の地殻変動の監視, 国土地理院時報, 128 集, 13-17.
- ・山田晋也 (国土交通省)・三浦優司・山中雅之 (地理地殻活動研究センター)・仲井博之・和田弘人 (文部科学省)・攪上泰亮・上芝晴香・矢来博司 (地理地殻活動研究センター)・小林知勝 (地理地殻活動研究センター)・森下遊 (地理地殻活動研究センター) (2016) : だいち 2 号 SAR 干渉解析によって検出された箱根山・大涌谷内の地表変動, 国土地理院時報, 128 集, 67-75.
- ・上芝晴香・三浦優司・宮原伐折羅・仲井博之・本田昌樹・攪上泰亮・山下達也・矢来博司 (地理地殻活動研究センター)・小林知勝 (地理地殻活動研究センター)・森下遊 (地理地殻活動研究センター) (2016) : だいち 2 号 SAR 干渉解析による熊本地震に伴う地殻変動の検出, 国土地理院時報, 128 集, 139-146.
- ・大滝修・井上武久・植田勲・山下達也・山口和典 (測地観測センター)・白井宏樹 (測地観測センター)・鈴木啓 (測地観測センター)・三木原香乃 (測地観測センター) (2016) : 熊本地震に伴う基準点成果の改定, 国土地理院時報, 128 集, 177-187.
- ・三浦優司・宮原伐折羅・藤原智 (地理地殻活動研究センター)・矢来博司 (地理地殻活動研究センター)・小林知勝 (地理地殻活動研究センター)・森下遊 (地理地殻活動研究センター)・仲井博之・本田昌樹・上芝晴香・攪上泰亮 (2016) : だいち 2 号を活用した地震に伴う地殻変動の把握—地震予知連絡会 SAR 解析ワーキンググループの取組—, 写真測量とリモートセンシング, VOL.55, NO.3, 178-182.
- ・三浦優司 (2016) : 「だいち 2 号」を利用した宇宙からの地震・火山での地殻変動の把握, つくばサイエンス・アカデミー (SAT) 会誌, No.30, 16-17.
- ・石本正芳・梅井迪子・若杉貴浩・川畑亮二・豊田友夫・宮原伐折羅・福崎順洋 (2016) : Status on the Ishioka Geodetic Observing Station (石岡測地観測局の現状について), IVS NICT-TDC News (IVS 技術開発センターシンポジウム集録), No.36, 9-12.
- ・宮原伐折羅・三浦優司・攪上泰亮・上芝晴香・本田昌樹・仲井博之・山下達也・森下遊 (地理地殻活動研究センター)・小林知勝 (地理地殻活動研究センター)・矢来博司 (地理地殻活動研究センター) (2017) : Detection of Ground Surface Deformation Caused by the 2016 Kumamoto Earthquakes by InSAR using ALOS-2

Data (だいち 2 号 SAR 干渉解析による熊本地震に伴う地殻変動の検出), Bulletin of the Geospatial Information Authority of Japan, Vol.64, 21-26.

- ・宮原伐折羅 (2017) : 地球規模の測地基準座標系 (GGRF) に関する国連総会決議, 2016 年度 VLBI 懇談会シンポジウム集録, 印刷中.
- ・川畑亮二・梅井迪子・豊田友夫・若杉貴浩・石本正芳・宮原伐折羅 (2017) : つくば VLBI アンテナの測地学への功績について, 2016 年度 VLBI 懇談会シンポジウム集録, 印刷中.

[地理空間情報部]

- ・出口智恵・伊藤裕之 (2016) : 「地理院地図」の 3 つのオープン施策, 国土地理院時報, 128 集, 77-81.
- ・地理空間情報部災害対策班 (2016) : 熊本地震に関する地理空間情報部の対応, 国土地理院時報, 128 集, 207-212.
- ・地理空間情報部災害対策班 (2016) : Responses of Geospatial Information Department to the 2016 Kumamoto Earthquake (熊本地震に関する地理空間情報部の対応), Bulletin of the Geospatial Information Authority of Japan, Vol.64, 55-61.

[基本図情報部]

- ・中村孝之, 齋藤勘一, 水田良幸 (2016) : 外国人にわかりやすい地図のための標準作成, 国土地理院時報, 128 集, 123-128.
- ・笹嶋英季 (2016) : サミット地図作製, 国土地理院時報, 128 集, 129-133.
- ・基本図情報部 災害対策班 (2016) : 熊本地震に対する基本図情報部の対応, 国土地理院時報, 128 集, 189-195.
- ・中村孝之, 齋藤勘一, 水田良幸 (2016) : Establishment of Standards for Creating Easy-to Read Foreign-language Maps (外国人に分かりやすい地図のための標準作成), Bulletin of the Geospatial Information Authority of Japan, Vol.64, 7-14.
- ・基本図情報部 災害対策班 (2016) : Responses of National Mapping Department to the 2016 Kumamoto Earthquake (熊本地震に対する基本図情報部の対応), Bulletin of the Geospatial Information Authority of Japan, Vol.64, 35-41.

[応用地理部]

- ・応用地理部災害対策班 (2016) : 口永良部島の写真判読図の作成, 国土地理院時報, 128 集, 23-24.
- ・応用地理部災害対策班 (2016) : 平成 27 年 9 月関東・東北豪雨災害に関する常総地区推定浸水範囲図の作成, 国土地理院時報, 128 集, 43-44.
- ・本嶋裕介・山本洋一・小島脩平・武藤雅知 (2016) : 国土交通省ハザードマップポータルサイトの高度化, 国土地理院時報, 128 集, 105-112.
- ・災害対策班 (2016) : 熊本地震に対する応用地理部の対応, 国土地理院時報, 128 集, 197-199.
- ・吉田一希・関口辰夫・中埜貴元 (地理地殻活動研究センター) (2016) : 熊本地震に伴い生じた地表の亀裂分布図の作成, 国土地理院時報, 128 集, 201-206.
- ・災害対策班 (2016) : Responses of Geographic Department to the 2016 Kumamoto Earthquake (熊本地震に関する応用地理部の対応), Bulletin of the Geospatial Information Authority of Japan, Vol.64, 43-46.
- ・災害対策班 (2017) : 平成 28 年台風第 11 号・第 9 号及び第 10 号等に関する取組, 国土地理院時報, 129

集, 印刷中.

- ・植田摩耶・安喰靖・笹川啓・宗包晃子・永山透 (2016) : 地球地図プロジェクトの振り返りと完了-1992年から2017年まで-, 国土地理院時報, 129集, 印刷中.
- ・笹川啓・安喰靖・宗包晃子・植田摩耶・永山透 (2016) : Review and Conclusion of the Global Mapping Project : 1992-2017 (地球地図プロジェクトの振り返りと完了-1992年から2017年まで-), Bulletin of the Geospatial Information Authority of Japan, Vol.65, 印刷中.

[測地観測センター]

- ・川元智司・檜山洋平・甲斐玲子・菅富美男・山口和典・古屋智秋・阿部聡・高松直史 (2016) : Crustal Deformation Caused by the 2016 Kumamoto Earthquake Revealed by GEONET (GEONET によって検出された平成28年熊本地震による地殻変動), Bulletin of the Geospatial Information Authority of Japan, Vol.64, 27-33.
- ・川元智司・宮原伐折羅 (測地部)・檜山洋平・佐藤雄大・古屋智秋・太田雄策 (東北大学)・西村卓也 (京都大学)・等々力賢 (東京大学) (2016) : Real-Time GNSS Positioning system REGARD for Rapid Earthquake Moment Estimates (リアルタイム GNSS 測位システム REGARD による地震規模の即時推定), FIG Working
- ・檜山洋平・川元智司・古屋智秋・甲斐玲子・山口和典・鈴木啓・菅富美男・嵯峨諭 (2016) : GEONET による熊本地震に伴う地殻変動, 国土地理院時報, 128集, 163-168.
- ・酒井和紀・山尾裕美・鎌苅裕紀・佐藤雄大・後藤清・古屋智秋・辻宏道 (2016) : マルチ GNSS を情報化施工に利用するための技術解説, 国土地理院時報, 128集, 95-103.
- ・檜山洋平・川元智司・甲斐玲子・山口和典・高松直史・佐藤明日花・宮原伐折羅 (測地部)・三浦優司 (測地部)・山下達也 (測地部)・矢来博司 (地理地殻活動研究センター)・森下遊 (地理地殻活動研究センター) (2016) : GEONET 及び SAR 干渉解析による鳥取県中部の地震に伴う地殻変動, 国土地理院時報, 129集, 印刷中.

[地理地殻活動研究センター]

- ・藤原智 (2016) : 地理空間情報技術と ICT の融合ー「3次元地理空間情報を活用した安全・安心・快適な社会実現のための技術開発」の概要ー, CIAJ JOURNAL, 56(5), 35-41.
- ・岩橋純子 (2016) : DEM (数値標高モデル) を利用した斜面地形分類 ~似た形の斜面を色分けする~, 測量, 2016年9月号 (通巻786号), 22-23.
- ・宇根寛 (2016) : 国土地理院の地理教育の支援に向けた取組み, 地理, 2016年11月号 (通巻737号), 58-65.
- ・下山泰志 (2016) : 地図・測量の社会・経済に与える効果の研究 (平成27年度) (Study on social and economic effect of mapping and surveying), 国土地理院時報, 128集, 83-93.
- ・宇根寛・地理教育支援チーム (2016) : 地理教育の支援に向けた課題の整理と国土地理院の具体的取組への提言, 国土地理院時報, 128集, 113-122.
- ・藤原智・矢来博司・小林知勝・森下遊・中埜貴元・宇根寛・宮原伐折羅 (測地部)・仲井博之 (測地部)・三浦優司 (測地部)・上芝晴香 (測地部)・攪上泰亮 (測地部) (2016) : だいち2号干渉 SAR による熊本地震で生じた小変位の地表断層群の抽出, 国土地理院時報, 128集, 147-162.
- ・矢来博司・小林知勝・森下遊・藤原智・檜山洋平 (測地観測センター)・川元智司 (測地観測センター)・上芝晴香 (測地部)・三浦優司 (測地部)・宮原伐折羅 (測地部) (2016) : 熊本地震に伴う地殻変動から推定された震源断層モデル, 国土地理院時報, 128集, 169-176.

- ・中埜貴元・小林知勝・吉田一希（応用地理部）・藤原智（2016）：Field survey of non-tectonic surface displacements caused by the Kumamoto Earthquake around Aso Valley（2016年熊本地震に伴い阿蘇谷で発生した非造構性地表変位の現地調査）, *Bulletin of the Geospatial Information Authority of Japan*, Vol.64, 47-54.
- ・宇根寛(2016)：国土地理院の新たな地図体系，*歴史と地理* 第693号，6-12.
- ・宇根寛(2016)：災害に備えるための地理空間情報，*科学* 86巻5号，409-411.
- ・宇根寛(2017)：地理教育の支援に向けた国土地理院の取組み，*地図ジャーナル*，180号，6-7.
- ・宗包浩志（2017）：電子基準点精密単独測位キネマティック解析プロトタイプシステムの構築，*国土地理院時報*，129集，印刷中.